

2024年4月11日

これまでに当院で低侵襲心臓手術(MICS)僧帽弁形成術を 施行された患者様へ

当院では、MICSにおける安全な心筋保護法について臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をもとに行われるものですが、この案内をお読みになりご自身がこの研究の対象にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自身の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記録の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】

2019年1月から2024年3月までに当院でMICS僧帽弁形成術を施行された患者様

【研究課題名】

MICSにおける安全な心筋保護法の検討

【研究責任者】

群馬県立心臓血管センター 心臓血管外科 山田靖之

【研究の目的】

MICSアプローチの特殊性は小切開であるが故に術野視野が狭く、心臓の触診が困難であり、手術器具の動きに制限がかかる等ではありますが、心筋保護法は正中切開アプローチと遜色のない質を担保しなければなりません。当科で施行しているMICSにおける心筋保護法の問題点を明らかにすることがこの研究の目的です。

【利用するカルテ情報・資料】

診療録、年齢、性別、身長、体重、術前に施行された各種検査結果（採血、心電図、心エコー図検査、CT検査など）、手術記録、術後の外来での経過の記録などを使用いたします。

【個人情報の取り扱い】

登録されたデータは、お名前、住所などの個人を特定できるような状態で使用することはありません。研究の成果を学会や学術雑誌に公表する場合は、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問い合わせ】

群馬県立心臓血管センター 心臓血管外科
担当医師 山田 靖之 027-269-7455 (代表)